

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人 九十九会
事業所名	グループホーム 秋光園
訪問調査日	平成 20 年 8 月 19 日
評価確定日	平成 20 年 10 月 8 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日平成 20年 8月 22日

【評価実施概要】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人 九十九会
事業所名	グループホーム 秋光園
所在地	日置市東市来町長里360番地1 (電話) 099 - 274 - 3770

評価機関名	特定非営利活動法人社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島市城山1丁目16番7号
訪問調査日	平成20年8月19日
評価確定日	平成20年10月8日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 12 年 4 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	18 人
利用定員数計	18 人
常勤	14 人
非常勤	4 人
常勤換算	16

(2) 建物概要

建物構造	A棟-木造平屋建・B棟-鉄筋コンクリート 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	10,500円(水道光熱費)	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800 円	

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 86.3 歳	最低	73 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	湯田内科病院 田崎歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

秋光園はJR東市来駅より徒歩で15分の位置にあり、3号線から高台の住宅地沿いの道案内に従って進むと広い敷地内に介護老人福祉施設、訪問介護、通所介護、居宅介護支援、グループホームの建物が並んでいる。静かで自然に恵まれた環境である。管理者は、秋光園老人福祉施設で介護の実践を積み、グループホームの開設時より管理者として理念に沿った利用者の「嬉しい」感動の表情が出る介護を目指し、現状のサービスに満心することなく職員と共に日々のサービス向上に努めている。利用者の方が住み慣れた地域での生活が継続できるような地域との交流を増やす取り組みをされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は1、年間の研修計画を作成し、必要な研修機会の確保と職員のスキルに応じた研修の受講機会の確保 2、個人情報の取り扱いについての規定を整備し、入居者・ご家族に具体的な説明をする 3、災害対策マニュアルの整備 4、入居者の食事・水分摂取量の確認であったが水分摂取確認以外について全て改善がなされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価はホームの研修会で両棟の職員に管理者が項目にそって読み、職員の声を聞きながら実践の振り返りを行う話し合いがなされている。その後各棟にて取り組みの事実や取り組んでいきたい内容について書き込みを行い、管理者がまとめている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催され、行事予定や行事活動報告をしている。開催時期に応じ、外部評価の報告、利用者の入退所状況報告、平成20年度運営方針・年間行事計画など報告されている。ご家族やメンバーからの意見や質問など話し合わせサービスの向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情受け付け窓口は重要事項に明示し入居時にも説明をしている。家族会、面会時、家族参加のホーム行事、運営推進会議の場において意見、相談、苦情が聞けるよう働きかけている。意見、相談、苦情があれば職員で話し合い、それらを運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の文化協会に加入し、文化祭にはホームで作成した作品を出品し、見学している。ホームの防災訓練には地域の人に参加してもらったり、高校生のボランティア受け入れや、ホームの広い庭を地域の使用に開放するなど交流を図っている。今年度は法人全体で秋祭りの開催を予定しており、地域の交流をより深めたいと努力している。</p>

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は平成12年開設当初つくられた事業所独自に作られた理念を現在も理念としている。18年度の地域密着型サービスに移行してからの「地域住民との交流の下で」の考えが盛り込まれていない。		事業所の状況の変化で現状に沿った理念になるよう見直しを希望する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的に行われる職員会議で、理念に基づいてケアが実践されるよう話し合われている。20年度の運営方針にも理念が盛り込まれ、玄関入口、事務所にも理念を掲示し、理念の共有を図り、管理者と職員は理念に基づいてケアの実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化協会に加入し作品展や見学をしたり、ホームの防災訓練に地域の人に参加してもらったり、高校生のボランティアの受け入れやホームの広い庭を地域に開放しグランドゴルフが行われるなど交流の場として利用されている。		管理者は地域の人との交流できる機会を作りたいという意向の下に法人全体で秋祭りの開催を企画している。秋祭りを成功させて地域住民との交流が深まることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度外部評価の改善点は努力され改善されている。自己評価については管理者や職員は実践の取組に対し振り返りの機会と捉え会議において項目にそって話し合いを行い、更に各棟において記入し、管理者がまとめている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催され、行事予定や行事活動報告が行われ、開催時期に応じ、外部評価の報告、利用者の入退所状況報告、20年度運営方針・年間行事予定などの報告もしている。ご家族やメンバーからの意見や質問なども話し合いサービスの向上に活かしている。		会議録の記録が詳細でないため討議の内容や話し合いの状況が見えにくい。出された意見がどのように反映されているか資料から察することができるように会議録の工夫をして欲しい。又市職員・地域代表者の欠席者には会議録の配布にて報告をして欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市の担当者とは運営推進会議以外に現場の実情を話したり、書類作成の助言をもらったり、入居者の利用に関する相談をしたり、制度に関する指導を受けるなど行く機会をつくり連携を密にしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各棟で毎月ホーム便りを発行し、暮らしの様子、行事の報告、行事の予定や案内、職員の異動についても報告している。病院受診と報告はその都度電話連絡している。金銭管理については6か月毎に出納帳と領収書の報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受け付け窓口は重要事項に明示し、入居時にも説明をしている。家族会、面会時、ホーム行事、運営推進会議の場において意見、相談、苦情が聞けるように働きかけている。意見、相談、苦情があれば職員と話し合い、それらを運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者はできるだけ職員の異動や離職がないように、職員が働きやすい環境をつくり、利用者へのダメージを最小限に抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、2カ月に1回A・B棟合同で全員参加の職場内研修を行い、法人研修、湯田内科の研修、他のグループホームでの研修、ケアマネの勉強会なども計画され職員を育てる取り組みが図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	薩摩半島地区グループホーム連絡協議会に加入し、ネットワークづくりや研修会に参加している。同地区のグループホームの運営推進会議に参加するなど同業者との交流を通じた向上の取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に本人と面談をしたり、家族と一緒にホームの見学してもらったり納得した上で入居されている。病院からの入居者については管理者が出向いて面会し、顔馴染みになるよう働きかけるなど本人が安心できるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者から餅つきの仕方、調理の仕方、昔の話などの知識を教わり、ねぎらいの言葉をもらったり、くよくよするなど励まされたりするなど介護する立場だけでなく共に支えあう関係を築きながら過ごしている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人や家族から思いや意向について聞いている。また日常生活の様子をみながら、本人の意向の把握に努めている。		本人からの思いや意向の再確認は大事であるが、職員は本人のより深い意向の把握をするため、生活場面での入居者の態度、表情、言葉の気づきをメモする習慣をつけて欲しい。気づきメモは担当者会議で役立てて頂きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランの作成時の担当者会議では利用者、家族、職員が一緒になって意見やアイデアを出し合い、利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの確認は3か月に1回職員だけでモニタリングをしている。介護計画の期間に応じて見直しをしている。状態に変化があった場合はその都度見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院している入居者には見舞いに行き状態を聞きながら早期退院に向けて支援している。通院、定期健診、についても介助し、家族への負担軽減を図っている。特養の看護師と連携しながら、日常の健康管理や処置を行い健康維持の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医を確認し、連携をとりながら適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、ご家族やかかりつけ医と相談しながらどのように対応していくか話し合いを行うようにしている。		事業所として重度化した場合や終末期に向けた対応にかかわる指針を作成され、家族に十分説明され早い段階で家族の意向を把握されることを望みたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについての規定が作成され、重要事項に記載し、入居時に利用者、家族へ具体的に説明している。職員にも個人情報の規定について研修会をしている。入居者への言葉かけや対応についてもプライバシーを損ねることがないように心がけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての一日の流れの中で、その人がその人らしい暮らしができるよう、その日の一人ひとりのペースを尊重し希望にそえるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士が作成した献立に基づき調理しているが、好みの代替品や収穫野菜の使用など柔軟に対応している。入居者は食事準備～後片付けの中で能力に応じた作業に関わりを持ち、食事中はテレビを消し、職員と入居者は同テーブルで会話しながら食事し、食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームの入浴日は月曜日から土曜日までとし、月、水、金と火、木、土にわけ週3回の入浴を目安としているが、サービス担当者会議などで本人の希望を確認し、希望に沿えるように柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴や希望を聞き、得意分野の役割(食堂の掃除、ゴミ捨て、園芸、カーテンの開閉、食事の下ごしらえ、食器洗いなど)をしてもらい、張り合いのある暮らしになるよう支援している。好きな歌を歌ってもらったり、好きなテレビを見たり、買物に出かけるなど楽しみや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日はホーム内だけで過ごさないようホームの広い敷地内で散歩したり、食事したりしている。地域行事への参加、買物、美容室、ドライブと本人の希望に沿って外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、日中は玄関に鍵はかけないで自由に外へ出られる。帰宅願望の入居者4名がいるため職員は注意しているが、視野に入らず一人で出かける場合を心配し、玄関にセンサーを付けている。本人が出かける時は必ず付き添って出かけるようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に備え災害対策のマニュアルを作成し事務所の見えるところに掲示している。消防署立会の下で特養施設と合同で避難訓練をしている。その他ホームで自主訓練を年2回行い、地域の住民も参加している。		訓練で地域の人も参加しているが、非常事態に地域の応援を仰ぐために、連絡網を整備され全職員が共有できるようにしてほしい。又急な災害に備え水や食料の備蓄も考慮してほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立をもとに調理されており、カロリーや栄養のバランスは問題なく、摂取量についても毎回記録し、一日の摂取量が把握されている。水分量については記録がなく一日の必要水分について把握されていない。		高齢者にとって水分補給は大事であり、一人ひとりの摂取量の記録をとることで、一日に必要な水分が確保できているか確認され、職員は意識しながら水分補給に関わって欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は窓も多く外からの風が心地よく明るい。居間と食堂は兼用され、食事もレクリエーションも同じテーブルを使用している。A棟においては廊下が広くとってあり椅子や、ソファが置かれ場面を変えてくつろげる工夫をしている。B棟は後からの建築で風呂場、洗濯場、対面キッチンなど使いやすく改良されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広くとってあり、全室にトイレ、洗面台、ベット、押し入れが備えられ、入居者の必要とする備品や電気製品、大切な思い出の品や使い慣れた物など持ち込まれて本人が過ごしやすく配置している。		